

平和への誓い

今、私たちが目にする広島は、豊かな緑や花に囲まれ、清らかな川が流れる美しい街です。

54年前のあの日、青い空を巨大なきのこ雲が覆い、灼熱の炎は木も花も焼き尽くし、人々の尊い命や幸せを奪いました。苦しみの中で水を求めて命つきた人々。父を思い、母を思い泣き叫ぶ子供たち。街は廃墟と化しました。

その悲しみの中から人々は、復興への夢と希望を持ち、平和への強い願いとともに立ち上がり、この美しい街を築き上げてこられました。

私たちは、祈るような目で語られるおじいさんやおばあさんの話や、平和記念資料館の見学などから多くのことを学びました。そして、人々が平和で穏やかな暮らしができるようにするために、何をすればよいか考えました。

世界には今なお紛争が繰り返され環境破壊も進み、飢餓に苦しみ、傷つき幼い命を失っていくたくさんの子供たちがいます。また、私たちの身近にも、暴力をふるったり、友達をいじめ心を傷つけたりする人がいます。

私たちが今できること。それは、もっと平和について学び、よく話し合い互いに認め合うこと。友達への優しさをもち、小さな一歩でも正しいことを実行する勇気をもつこと。そして、戦争や核兵器の恐ろしさを忘れず、平和の大切さを世界の友達に伝えること。それが、この街に生まれ育った子供としての責任だと思えます。

青く輝く私たちの地球。この地球に本当の平和が訪れたとき、宇宙の中で最も美しい星として誇りをもつことができるのです。私たちは、広島の人々の心を学び、語り継ぎ、一人一人が輝き豊かに生きる社会を創るよう、世界の多くの友達とともに努力することを誓います。

平成11年（1999年）8月6日

子ども代表 広島市立本川小学校 6年
広島市立矢野南小学校 6年

しんたに ひとみ
すみよし たつのり
住吉 竜典